

内郷高坂 防災まちづくり活動ニュース

平成27年12月発行 いわき市 危機管理課

自助・共助による防災力向上に向け、課題の点検などを行ないました (第4回防災まちづくりワークショップ)

平成27年12月3日(木)午後2時から、高坂2区・3区・4区のふくろう見守り隊の方々を中心とするメンバーで、「第4回内郷高坂地区防災まちづくりワークショップ」として、地区における防災上の課題などを点検しました。

今回は18名(地区住民10名、内郷消防署1名、ほかに市職員4名・コンサルタント3名)が参加しました。(「防災まちづくりワークショップ」と当日プログラムの詳細は、ウラ面をご覧ください。)

2グループに分かれて細かく点検、発表しました。【裏面も参照下さい。】

○坂道、土砂崩れ、狭い道など
心配な箇所が分布
○近隣の付き合い、声を掛けあ
って一緒に避難が大切
等々

○管理が心配な空き家が分布
○中学生と連携した要援護者対
策が大切
等々

○管理が心配な
空き家
○中学生と
連携した
要援護者
対策が大切
等々

★ まちの防災情報点検 (第4回ワークショップ) の内容 ★

○自助・共助による防災まちづくりの必要性を確認しました。→これからは、自助、共助による防災への取り組みが一層求められる背景が、いわき市より説明されました。【右図参照】

○まちの防災情報を確認し、地図にまとめていきました。(下写真はお話合いの様子です。オモテ面も参照ください)

○次回は、これまでの材料と今回の話し合いをもとに地区の防災情報満載の「ハザードマップ」を完成させます。

自助・共助による防災まちづくりの必要性 (当日の市の資料のまとめ)

- 人口減少・少子高齢社会の加速化
- 東日本大震災など想定外の災害の発生
⇒ハード対策、行政の防災対応力にも限界がある。

(公助だけではなく)『自助』『共助』が大切

『自助』 自分の身は自分で守る

『共助』 近隣が互いに助け合って地域を守る

以前は地区内に夜警当番があった



みんなが一時的に集まることのできる民有地の駐車場がある



道がなかったり、がけ崩れで逃げられなくなる場所がある

倒れそうなブロック塀がある

防災まちづくりワークショップについて

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成 27・28 年度にわたり全 10 回行います。

※次回平成 28 年 2 月 4 日(木)は、これまでの検討をもとに、地区の防災情報満載のハザードマップを確認します。これからでも参加できますので、関心のある方は是非参加してみませんか。【申し込みは下記の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第5回	2月4日(木) 午後2時～4時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討

※第6回以降は平成 28 年 4 月以降に、自助・共助・公助による課題への取り組みを皆さんと話し合っていきます。

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))